



はんた 市議会だより



- 一般質問10人が市政を問う! P.2~5
- 6月定例会審議結果 P.6~7
- 8月臨時会審議結果 P.8~9
- 各委員会の調査テーマ P.10
- 半田市議会会派の紹介 P.11
- お知らせ: 議会報告会、Qイズ!GIKAIへGO!!について P.12

市政を問う

一般質問

6月定例会における市政に関する一般質問は、6月30日、7月1日、2日に行われ、10人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。
(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は9月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。
また、市議会ホームページにも掲載します。
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

新市長の半田市政への考えを問う



継新・半田市民の会
加藤美幸

問 子育て環境知多半島No.1を目指す具体的な施策を伺います。

答 仕事と子育て両立のサポート体制充実に取組み、保育園等への入園のしやすさ、病児保育の充実、放課後児童クラブの学校内設置、職場での子育てに対する理解の促進にも取組みます。

問 子どもを取り巻く諸問題や、子どもの居場所をどのように考えていますか。

答 いじめ、不登校、児童虐待、ひとり親家庭の増加による孤立や貧困など、問題は多様化、複雑化しています。それに直面した子どもに家や学校以外で、食事・学習・遊び等を行える居場所を検討します。そして子どもの意欲や自信、自己肯定感の回復や向上を支援します。

問 小学校の教科担任制リットには、どのようなメリットがありますか。
答 専門性の高い指導で、「わかったできた」

楽しい」授業となります。また、授業準備の効率化や負担軽減で教員が子どもに向き合う時間が増えます。

問 女性管理職登用を加速させる具体的な取組みを伺います。

答 一般行政管理職の女性割合を現在の10.7%から、令和7年には10%を目標とし、働きやすい職場づくり、キャリアが蓄積され自分の能力に自信が持てるように研修等で意識づけを行います。

問 次期半田市男女共同参画推進計画が成果を出せるよう本気で取組むべきと考えますが、見解を伺います。

答 性別による地位の不平等感や無意識の偏見などの課題を踏まえ、女性活躍の推進、男女共同参画の視点による防災対応、性的少数者への理解促進を計画に盛り込みます。庁内連携を強化するため新たに組織を立ち上げ、全庁的に取組み、多様性が当たり前の共生社会を目指します。市民には、施策内容や進捗状況をわかりやすく公表します。



コロナ禍で表面化した女性の問題



公明党
坂井美穂

問 コロナ禍で表面化した「生理的貧困」をどのように捉えていますか。

答 経済的困窮のみならず、育児放棄、性の知識不足などで生理用品を利用できない環境にあることと認識しています。

問 困っている女性を取り残さないために、生理用品を希望する人に配布し、相談窓口の案内を同封するなどして、支援の場を繋げることが必要と考えますが、いかがですか。

答 生理用品の提供を通じて支援に繋げる取組みを進めます。

問 小中学校の子どもたちが学校で突然生理になってしまった時にどのような対応をしていますか。

答 養護教諭に相談し、保健室に備えてある生理用品を利用しています。

問 小中学校のトイレに生理用品を備えることで、児童・生徒の健

康・衛生環境を守ることができ、安心して学校生活を過ごせるようになると考えますが、いかがですか。

答 保健室だけに備えることと比べ、より心理的負担が少ない有効な手段です。女子トイレに生理用品を備える取組みを進めます。

問 支援は継続して行う必要があると思いますが、いかがですか。

答 継続的な支援体制は必要です。

問 困っている人が声を上げられる環境づくりについて、どのように考えていますか。

答 既存の各種相談のさらなる連携強化を図り、支援に繋がります。

問 「第3次半田市男女共同参画推進計画」に「生理的貧困」対策について盛り込んでいただきたいと思いますが、いかがですか。

答 本年度策定する計画においては、「生理的貧困」の根深さの認識をふまえ、相談体制の充実に向けた施策に反映します。



市政を問う
一般質問（質問議員が執筆しています）



チャレンジはんだ 水野尚美

半田市が目指す観光振興

問 コロナ禍により事業が中止となる状況の中、半田市の良さをどのように伝えていきますか。

答 半田市PR大使の平野泰新さん出演の、すしや知多牛のPR動画を作成、配信、半田運河について、タブロイド判広報誌を作成、配布するなど、半田市の魅力を積極的にPRしてまいります。

問 半田市の観光資源として「山車、蔵、南吉、赤レンガ」をテーマにポロシャツを毎年作成、販売していますが、半田市のPRツールとして、さらなる着用の推奨、着用の増加、市民へのデザイン募集など、提案に対する考えを伺います。

答 ポロシャツは観光振興の重要なツールなので、着用を推奨します。色の選択肢を増やすこと、デザインを市民募集することも取組みます。

問 子どもたちを観光振興の担い手として育て、半田市の様々な事

業に関わっていただく考えはありますか。

答 担い手として育むことは、半田市の歴史と文化の継承を図るうえで欠かせないものであり、とても重要です。半田をもっと好きになり、興味をもってもらえるよう、学ぶ機会と共に、事業に関する機会も創出します。

問 アフターコロナを見据え、外国人観光客の誘客についての考えを伺います。

答 外国人に興味をもっていたただける日本文化のコンテンツの魅力発信力のある方、例えば、質問で紹介された「2021 MISS SAKAI JAPAN」グランプリに輝いた松崎未侑さんにもご協力いただき、世界に向けて情報発信してまいります。

問 半田市の観光振興は、行政、企業、市民活動など、多様な主体の協働により発展してきたと考えますが、今後さらに発展するためにどのような仕組みづくりが必要と考えていますか。

答 さらに発展のためには、庁内各部署との連携も不可欠と考えます。若い世代も参加するプロジェクトチームの活用を積極的に推進してまいります。

進んでいきます。



創造みらい半田 沢田 清

文化財等を活かした「まちづくり」

問 市内には、指定文化財と登録文化財が何件ありますか。

答 6月1日現在で国指定文化財11件、県指定文化財5件、市指定文化財49件の計65件の指定文化財と、3件の国登録文化財があります。

問 博物館として現在、文化財の候補になるような物件を把握していますか。

答 半田市誌（文化財編）に、文化的な価値が認められる物件の主な例が、指定・未指定にかかわらず掲載されていますので、これに基づき把握や、文化財専門委員からの紹介、所有者からの相談などで候補物件を把握しています。また現在、相談を受けている段階であり、公表できませんが、数人の所有者から文化財として活用していきたいとの話があります。

問 半田市には文化財に関する計画はありますか。

答 文化財の保存・活用に限定した計画はありませんが、「半田市民涯学習推進計画」の中に醸造・山車などの半田市を特色づける文化や文化財の保存・伝承を位置付け担い手確保の支援や、郷土の誇りと愛着、文化や文化財への保護意識や当事者意識を育むための体験型の展示や講座の開催などを記載しています。また、本年度に策定予定の、文化振興計画や博物館展示整備基本方針においても、文化財の保存・活用について記載し、市民が文化や文化財に親しめる機会を提供していく方針です。

問 文化財保存活用地域計画を策定して「まちづくり」を進める考えはありますか。

答 現時点では地域計画を直ちに策定し、「まちづくり」に活用していく考えはありませんが、まずは、半田市民涯学習推進計画や、今年度策定する「文化振興計画」や「博物館展示整備基本計画」を具現化していく中で半田市のより良い将来のために、市民全体で文化財の保存・活用を図り、まちづくりに活かしてまいります。

問 島田橋は、耐震基準を満たしていないため、管理者の阿久比町と協議を進めています。暫定道路は、島田橋の耐震対策が必須です。今後、早急にトップ同士の協議の場を設け調整を図りますか。

答 開院までに暫定的な救急搬送道路の整備は出来ませんが、暫定道路は、市民の命を守る重要な救急搬送道路です。令和7年春の開院までに完成させるべく全力を進めていきます。

問 民間化を目指しますか。



チャレンジはんだ 伊藤正興

新半田病院の民間化と北部地域からの救急搬送

問 暫定的な救急搬送道路の進捗状況を教えてください。

答 昨年度、名鉄高架下の詳細調査等を実施しました。今後は、阿久比町等との協議を重ね、整備を進めていきます。

問 島田橋の耐震対策の現状はどうなっていますか。

答 島田橋は、耐震基準を満たしていないため、管理者の阿久比町と協議を進めています。暫定道路は、島田橋の耐震対策が必須です。今後、早急にトップ同士の協議の場を設け調整を図りますか。

問 開院までに暫定的な救急搬送道路の整備は出来ませんが、暫定道路は、市民の命を守る重要な救急搬送道路です。令和7年春の開院までに完成させるべく全力を進めていきます。

問 民間化を目指しますか。

答 当面は、常滑市と地方独立行政法人化による病院運営を軌道に乗せることを優先し、その後、民間化を検討していきます。

問 保存を予定しているのは旧跨線橋のどの部分ですか。

答 跨線橋本体部分と現在のホームで使用されている石積み等です。

問 今後、学びと体験が出来る保存方法を検討することが重要と考えますが見解を伺います。

答 たくさんの方々に興味を持ってもらえるよう、学びや体験の仕組みづくりや仕掛けづくりをしていきます。

問 半田市の象徴である山車、蔵、南吉、赤レンガに、新たに鉄道遺産を加えることを提案しますがいかがでしょうか。

答 武豊線の鉄道遺産は歴史産業遺産としては貴重なものであり、本市を特徴づける地域資源の一つであると認識しています。一方で市内外の認知度は、現状として山車、蔵、南吉、赤レンガに匹敵するまでには至っていないと考えます。





無所属 鈴木健一

新市長の公約について問う

問 コロナ感染対策で、PCR検査はどの範囲でやりますか。

答 管轄の保健所が行います。

問 高齢者のワクチン接種会場への移動手段の確保についてどう考えますか。

答 新たに移動手段を確保する予定はありません。

問 市役所職員のワクチン接種率は把握していますか。

答 本人の希望接種であるため、把握する考えはありません。

問 自宅療養している人へのワクチン接種はどのように進めますか。

答 6月中旬より、医療機関の協力のもと、対象者の自宅への訪問などで進めています。

問 子育て環境No.1の街を目指すとなつていますが、内容はどのようなのですか。

答 仕事と子育てを両立するためのサポート体制の充実と子育てに

する理解の促進にも取り組んでいきます。

問 高度医療が受けられる都市へとありますが、新半田病院の民営化の検討について、説明してください。

答 選択肢として検討していきませんが、民営化ありきの検討ではありません。

問 企業誘致を行い、市内の雇用を3千人増やすとの事ですが、数字の根拠を説明してください。

答 市北部の石塚地区に8haの用地を確保したいと考えています。市内企業の敷地面積と従業員数を参考に試算した結果、最大3千人の雇用を創出できると見込んでいます。

問 女性管理職の登用を加速させるとありますが、具体的にはどうしますか。

答 令和7年度までに10%以上とすることを目標に働きやすい職場づくりに取り組んでいきます。

問 指定ごみ袋の基礎配布方式を説明してください。

答 市民への配布方式を含む全体の制度設計について検討します。

度設計について検討します。



創造みらい半田 竹内功治

久世市長が掲げる子どもたちの未来を見据えた取組み

問 共働き世帯や女性の就業のサポート、子どもたちの安心安全な居場所づくりを推進するために何を取組みますか。

答 学童保育所は長期休業中のみの利用が難しいため、長期休業中の学校の空き教室を利用することを検討します。ただ学校や地域へ協力依頼空き教室のエアコンの設置等を考えて、来年度以降に実施する予定です。

問 ファミリーサポート事業の利用促進やバージョンアップの取組みをどのように進めますか。

答 お試し無料券の配布や子育て支援の相談員の配置など、気軽に利用できる体制を整えながら会員の増加に努めます。

問 更なる安心安全の確保や事業の充実のため、講習の増加や子育て支援のNPO等に運営委託をしてはどうですか。

答 ご意見を参考に事業の充実を目指します。

ご意見を参考に事業の充実を目指します。

問 小中学校ではタブレットを活用して授業を行っていますが、授業中に通信速度の低下、キーボードの未配布、家庭へのオンラインの未実施等が課題と考えます。改善すべきでないですか。

答 通信速度の低下等、ICT機器の問題は速やかに原因を調べて対応します。キーボードは2学期から使用できるようにします。また家庭へのオンラインは就学援助の世帯のため学校に配布する予定のモバイルルーターを活用するなど、実施が出来るように取組みます。

問 不登校を解決するため専門チームを結成することですが、その内容とICTの活用はどのように進めますか。

答 今ある相談体制に加え民間や地域の方等、様々な方でチームを結成します。またタブレットを活用して、オンラインの授業や教育相談員の相談等を実施する考えです。

問 教育先端都市を目指すとのことですが、理想としている先進事例や自治体はありますか。

答 茨城県つくば市のよつなICTを最大限に活用した教育や学術・研究都市が理想です。

学術・研究都市が理想です。



公明党 山田清一

新型コロナウイルス接種の円滑な推進

問 現時点の課題と改善策はどのように考えますか。

答 今までは接種順位の高い高齢者が主な対象者であり、日中の時間帯に接種時間を設けておりましたが、今後、対象者が若い世代に移行し、ライフスタイルに合わせた接種環境の整備が必要ですが、個別医療機関において通常の診療時間外や休日での接種を促進する等により対応します。

問 半田市ホームページ「新型コロナウイルスページ」の特設ページにおいて「予約や接種状況の見える化」により分かりやすくできませんか。

答 半田市ワクチン接種特設ページでは、「いつ、どこか会場の予約が空いているのか」が一目では分かりにくい状態となっております。他の自治体の取組事例も参考に、少しでも分かりやすいホームページになるよう、現在、改善作業に着手しています。

現在、改善作業に着手しています。

ヤングケアラーへの支援の推進

問 ヤングケアラーの早期発見・把握について全国規模の実態調査が実施されましたが、半田市も実態調査をするべきと考えますがいかがですか。

答 ヤングケアラーの実態については、認知度が低く、また表面化し難いため、把握が困難と言われております。愛知県においては、令和3年6月議会でも県独自の調査を今秋に実施する予定であると公表されました。半田市においても、今後の国や県の動向を踏まえつつ、実態を的確に把握するため、調査実施に向け準備を進めます。

問 ヤングケアラーの心身の負担を軽減し、適切な支援に繋げるため、どのように取組めますか。

答 潜在化しがちなヤングケアラーを早期に発見することが重要です。まずは、子どもと接する時間の長い学校の教職員を始め、子どもの支援に関わる職員の対し、ヤングケアラーに関する概念の普及啓発を図ることから取組み、早期発見に繋げていきます。

早期発見に繋げていきます。



市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



維新・半田市民の会
中川健一

**久世市長の公約は具
体性に欠け、実施の
可否を検証できない**

問 新半田病院の民営化を検討するとのことですが、政治信念として小さな政府を目指すのか、例えば水道事業も民営化する考えですか。

答 民間でやれることを全て民間でやることまでは考えていません。従って現時点では水道事業を民間でやった方がよいとは考えていません。半田病院については市民と接する部分が多いので民間の力を活用できるとの考えに到りました。

問 新半田病院への半田
市北部からの救急車
アクセス道路を開院まで
に整備します、とのこと
です。すでに半田市役所
が進めている改善策と何
か違う内容はありますか。
答 整備方針が変わりは
ありません。島田橋の
耐震対策など、必要に
応じてトッポ同士の話し
合いを設けるなどし、さ
らなる事業進捗を図って
いきます。

問 特別養護老人ホーム、
小規模多機能型居宅
介護事業所などを計画的
に整備することです。
どこの自治体でも当たり
前の取組み方針です。現
状の何を問題視し、どう
改善する考えですか。

答 高齢化により介護施設の利用者が増加すると予測されます。高齢者のみなさまが必要な時に安心してサービスが受けられるよう計画的に環境の整備を実現します。

問 労働にまつわる社会
問題の解決をする事
業所に一定の条件で助成
とのことですが、雇用対策
を市町村レベルで行うの
は無理がありますが、助
成する年間予算額を教え
て下さい。

答 今後設置する産業振興会議で、どのような支援が必要なのか、事業者の声を聞く中で事業化についての予算額を考えます。

問 市民活動助成金制度
助成率を設定。申請・相談
窓口を拡充し、市民活動
をさらに応援、とのこと
です。現在年間6000万
円程度の助成予算額をい
くら増やす考えですか。

答 今後の申請状況や交付実績から判断します。



志民ネット
中村和也

**コロナウイルス感染
症対策と様々な影響**

問 希望者全員がワクチン接種を完了する時期の見通しと予約枠に空きが生じた際、誰を対象とし、どのように予約枠を埋めていきますか。

答 接種希望者が全対象者70%と想定した場合は、政府が目標としている10月末までにワクチン接種が完了する計画を立てています。また、集団接種会場のうち、市立半田病院会場の予約枠が空いた場合は、市内小中学校・保育園等の職員のうち、接種希望者に空き枠での接種をしております。予約枠に空きが生じないよう、状況を見ながら接種券を早急に、対象者全員に対して送付していきます。

問 長引くマスク生活に
よる子ども達への影
響とその対応について
どのように考えています
か。

答 相手の表情が十分に
見えないために、相手
の感情を理解できず不安
になるなどの課題があ

ると認識しています。マスク着用は命を守るうえで重要ではありますが、心身の健全な成長を犠牲にしないよう、発達段階に応じた対応をしていきます。表情が見える透明マスクの購入なども検討していきます。

問 学校・保育の管理下
においての熱中症対
策として、運動中はマス
クの着脱を適切に行う必
要があると思いますが、
どのように考えますか。

答 熱中症が心配される時期に入ってきますので、子どもたちの健康を考慮し、運動中にはマスクを外すように周知徹底を図っていきます。

問 コロナウイルスの影
響が長引く中で、市
内経済が疲弊し、極限の
状態まで追い詰められて
います。市長が打ち出し
た地域振興券は、いつ頃
どのように配布しますか。

答 国の経済対策を見極めながら、商工会議所とも協議し、早急に時期を示します。また、振興券の活用方法については、ただお金を配るだけではなく、市内限定で使えるような枠組・方法を商工会議所とも協議を進めています。



市議会を傍聴してみませんか？

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日、市役所庁舎5階の傍聴ロビーの傍聴受付で手続きを行って下さい。(氏名・住所・電話番号を記入していただきます。)



傍聴席の様子

傍聴される方へのお願い(新型コロナウイルス対応)

- ・発熱などの症状がある方や体調がすぐれない方は傍聴をご遠慮いただくようお願いいたします。
- ・傍聴の際はマスク(各自で用意をお願いいたします。)を着用して下さい。
- ・傍聴受付にて手指の消毒にご協力をお願いいたします。
- ・傍聴席は一席ずつ空けて設定してあります。

市政を問う

一般質問(質問議員が執筆しています)

審 議 結 果

令和3年第5回定例会(6月30日～7月9日)

() 内は議案の補足説明です。

■全会一致の案件

議案 番号等	議案名
承認2	専決処分の承認について（令和3年度半田市一般会計補正予算第3号）
議案41	令和3年度半田市立半田病院事業会計補正予算第1号（半田病院整備のために37万6千円のご寄付を頂いたことに伴うもの）
議案43	半田市児童遊園及びちびっ子広場に関する条例の一部改正について（「有楽ちびっ子広場」は土地の所有者から返還申請がなされ、返還することに伴い廃止により、条例の一部を改正するもの）
議案44	跨線橋整備工事（その1）請負契約の締結について（(株)植田組が請負もの）
議案45	跨線橋整備工事（その2）請負契約の締結について（(株)七番組が請負もの）
議案46	跨線橋整備工事（その3）請負契約の締結について（宇野重工(株)名古屋営業所が請負もの）
議案47	乙川中学校改築工事請負契約の締結について（改築工事について、工事請負契約を締結するもの）
議案48	乙川中学校改築電気設備工事請負契約の締結について（電気設備工事について、工事請負契約を締結するもの）
議案49	乙川中学校改築衛生設備工事請負契約の締結について（衛生設備工事について、工事請負契約を締結するもの）
議案50	乙川中学校改築空調設備工事請負契約の締結について（空調設備工事について、工事請負契約を締結するもの）
議案51	市道路線の廃止について
議案52	市道路線の認定について
議案53	半田市副市長の選任について（堀敬雄氏が7月10日をもって任期満了となるため、新たに山本卓美氏を選任するもの）
議案54	半田市固定資産評価員の選任について（堀敬雄氏が7月10日をもって辞任するため、新たに山本卓美氏を選任するもの）
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（任期満了に伴い引き続き榊原顕太郎氏とするもの）
議員 提出2	特別委員会の設置について（6次産業化調査特別委員会と定住人口増加策調査特別委員会を設置）

■その他の案件

議案番号等	議案名
報告5	半田市土地開発公社の経営状況について
報告6	令和2年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計継続費の繰越しについて
報告7	令和2年度半田市一般会計事故繰越しの繰越しについて
報告8	令和2年度半田市一般会計繰越明許費の繰越しについて
報告9	令和2年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告10	令和2年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告11	令和2年度半田市下水道事業会計継続費の繰越しについて
報告12	令和2年度半田市下水道事業会計予算の繰越しについて
	特別委員会委員の選任について

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	創造みらい半田		公明党			志民ネット		チャレンジはんだ		維新・半田市の会		自民クラブ		無所属		議決結果		
		渡邊昭司	芳金秀彦	鈴木幸彦	岩田玲子	竹内功治	沢田清勝	石川英之	山田清一	坂井美穂	山本半治	小栗佳仁	中村和也	水野尚美	伊藤正興	國弘秀之		加藤美幸	中川健一
議案40	令和3年度半田市一般会計補正予算第4号（総務:亀崎地域の祭り用品(夏山車の台輪・提灯)の購入の助成、消防団の消耗品購入など 文教:新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、生活困窮者に対し自立支援を目的とした支援金を支給するものなど 建設:生ごみ処理機などの購入に対する補助申請件数が想定以上に増加したため、補助金を増額するものなど）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案42	令和3年度半田市水道事業会計補正予算第2号（花園保育園建設に伴う道路新設工事に同調して配水管布設工事を実施するものなど）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

反対討論

議案40号に反対

鈴木健一議員

個人番号カード交付事業に反対します。個人情報漏れる、漏れたら悪用される可能性もあります。しかし、本当の問題は、国や大企業に合法的に活用され、選別や排除が起きる可能性のある事です。マイナンバー制度とは給付を抑制して国の財政や大企業の負担を減らす事を狙った制度です。コロナ禍の今、他にすべき事業があると考えます。

議案40号・42号に反対

中川健一議員

令和2年12月議会でも指摘をしましたが、花園保育園を城ノ上住宅跡地へ移転させることについて、保育園事業を所管する半田市議会文教厚生委員会で意思決定がなされていません。にも関わらず所管外の建設産業委員会で花園保育園を城ノ上住宅跡地へ移転させることを前提とした道路整備等の予算を議決することは手続的に欠陥があります。

審議結果 令和3年第6回定例会(8月5日)

() 内は議案の補足説明です。

賛否の分かれた案件

Table with 13 columns: Party (e.g., 創造みらい半田, 公明党), and 1 row of data for Case 55 (令和3年度半田市一般会計補正予算第5号). The table shows voting results with symbols like circles and dots.

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

委員会の主な質疑: 半田市に居住実態はあるが、半田市に住民票がないDV措置対象者は、申請をしなければ、地域振興券を受け取るこ

模店舗で使える券を7割としたことで、支援を必要としている中小規模店舗で使っていただけと

議論: 本事業の目的である中小規模店の活性化、雇用機会の創出、困窮者支援等の効果について

議案55号に賛成

石川英之議員

新型コロナウイルスの影響により、市内経済状況は大きく疲弊しており、この状況は非常事態災害です。万が一の自然災害等で拠出する財政調整基金ですが、この災害時に使わずしていつ使うのでしょうか。

市民の皆様が市内限定で地域振興券を使い、飲食や商品購入で地元企業を応援する。利用する市民は少しでも贅沢をしていただくことで幸せを感じられる、これらが噛み合うことで疲弊してしまつた経済を元気にする一助になると確信しています。

予測数値ですが、つき込んだ1.7倍41億円の経済効果も見えており、チャレンジする価値はあると考えます。

市内経済がどん底に落ちてしまつてからでは立て直しは困難ですし、今後の市税収入にも大きな影響を及ぼすことにもなりません。

今回の経済救済策についてはご批判もあるかと思いますが、半田市民が一丸となり、手を携えてこの難局を乗り越えていきましよう。

議案55号に反対

鈴木健一議員

現在、新型コロナウイルスの第5波とも言われる大きな波が、影響を及ぼしている中にも関わらず、「復興のため」とする補正予算には賛成できません。市民全員にと言われるのであれば、以前から、私が提案しているように水道料金の基本料減免を行えば、申請も換金も不要な上、迅速に市民の手に届きます。こういう施策を実施すべきと考えます。

現状、コロナ禍の最中です。今振興券を出す事は、感染が広がる中、不要不急の外出を控える事を求めながら、市民に対し、矛盾したメッセージになるのではありませんか。

大規模なPCR検査を自治体独自で行う事で、安心・安全な半田市を作る事に予算を使い、不安なく市民に市内を歩いて貰う事が目指すところではないですか。そうなれば、市民は市内で買い物をし、食事にも出かける事になるでしょう。その時がまさに復興であり、活性化ではないでしょうか。

議案55号に賛成

小栗佳仁議員

令和2年度半田商工会議所の融資・各種補助金・支援金・雇用に関する目標相談件数400件に対し1569件(93%)と3.9倍と厳しい状況になっていきます。また、日本政策公庫融資に於いても令和元年度の5.5倍9億8110万円となつており資金面でも厳しい状況です。また、雇用状況では事務やサービスの内接客・給仕など飲食業関連の有効求人数が減少し、有効求人倍率が1以下で、働きたくて働けない状況になっていきます。こうした新型コロナウイルスに様々な影響を及ぼしてしまふ。疲弊した市内経済を活性化し、雇用の機会が戻り、ひいては困窮者支援にも繋げる一般会計補正予算第5号地域振興券事業について賛成いたします。

議案55号に反対

新美保博議員

コロナ禍という近年では例を見ない状況の中で、困窮する市民や事業者が多数存在していることは承知しており、コロナ対策の必要性については十分に理解しております。しかし、市長公約のバラマキとも言われている、この事業は内容の未成熟さから、時期や巨額の投資の効果など不明瞭な点が多く、思慮に欠ける近代稀にみる不手際・欠陥議案であるとしたか、言いようがなく容認できません。

「半田に住んで良かった」と思つてもらつたため、「この危機に今出来ることを全力でやる」事業が、何の考えもない、市民一律に2万円を配るという事業であったことに寂しさを禁じえません。

この時代においては、市民の最後のセーフティーネットとしての役割を果たすべき行政として、無駄にして良い市民のお金はありません。

再度、市民情報の分析と精査をした上で、生活支援、経済対策の事業を見直すことを求め、反対をいたします。

議案55号に賛成

山田清一議員

久世市長は、コロナ禍の影響を受け、疲弊した市内経済を回し、市民全員でまちの活気を取り戻すための地域活性化策として、市民一人当たり2万円分の地域振興券を配布する、とのこと。地域振興券については、市民の皆さんから期待する声を多くいただいています。今回の2万円分の地域振興券は、コロナ禍において苦しんでいる市民、そして、地域経済に対し、市としての最大限の支援策のひとつと認識しており、政治的決断であると受け止めています。

大型店だけに偏らないような工夫、そして今回、配偶者やその他親族からの暴力等を理由に避難している方などへの対応も追加されました。今回の地域振興券交付をきっかけとして、地域経済の活性化に繋がる事を期待しており、賛成との判断をいたしました。

令和3年度 各委員会の年間調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行い、市に対して提言をしています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。

総務委員会

行政における民間人材の活用について

多様化する住民のニーズへの対応や、情報通信技術の発展と急速に進化するテクノロジーの活用に向けて、行政で求められる知識の専門性は年々高まっています。

このような急激な変化の時代にあつて、民間高度専門人材を採用・活用している自治体が増えてきています。

本市においても、新たな行政需要に関する業務（DXなど）については、自治体内部に当該業務の専門家は存在しないため、民間から専門人材を確保することを検討する必要があります。とはいえ、と

そうした民間人材を採用している先進自治体の状況などを踏まえ、民間人材の活用に関する方向性について調査研究します。

文教厚生委員会

重層的支援体制整備事業について

相談支援の連携の推進について

近年、住民が抱える福祉的な課題は、複雑化・複合化しています。8050問題やダブルケア、社会的孤立など、従来の社会保障制度の支援体制ではケアしきれないケースが発生しています。

このような課題に対応するために、国は、令和2年度に社会福祉法を改正し、「重層的支援体制整備事業」を創設しました。この事業では、まち全体で断らない包括的な支援体制を構築し、制度の狭間の複合的な課題に対応するために属性や世代を問わない包括的な相談受付、社会との繋がりがづくり、住民同士が交流できる居場所の整備を一体的に行うこととしています。

半田市においては、令和3年4月から、相談支援のアウトリーチ事業を開始したところです。文教厚生委員会では、半田市における「重層的支援体制整備事業」の今後のあり方を調査研究します。

建設産業委員会

ゼロカーボンシティを目指す第一歩

さらなるごみ減量に向けて

半田市では、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ」を2020年2月20日に表明しました。

しかし、聞き慣れない言葉であり、どのようなことなのかもまだ理解が深まっていない現状があります。目的実現に向けて、一番身近な課題でもあり、誰もが取り組むことができる「ごみ減量」などの具体的、効果的な取組みをさらに推進するために調査研究し、ゼロカーボンシティを目指す第一歩とします。

尚、ごみ減量の取組みについては、平成30年度の建設産業委員会のテーマとして取組みましたが、結果減量には至っておらず、再度調査研究することに値すると考えます。

6次産業化調査特別委員会

6次産業化を進めるための調査研究をしていきます。

- 委員長 小出 義一
- 副委員長 國弘 秀之
- 委員 嶋崎 昌弘
- 伊藤 正興
- 中村 和也
- 山田 清一
- 加藤 美幸
- 岩田 玲子
- 竹内 功治
- 澤田 勝

定住人口増加策調査特別委員会

定住人口の増加策について、調査研究していきます。

- 委員長 中川 健一
- 副委員長 沢田 清
- 委員 新美 保博
- 水野 尚美
- 小栗 佳仁
- 芳金 秀展
- 坂井 美穂
- 鈴木 健一
- 石川 英之

半田市議会 会派の紹介

会派とは…

同じ志や政策を持つ2人以上の議員の
グループのことです。

半田市議会基本条例の中で議員は議会活動を行うため、会派を結成することができると定めています。

会派は政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成し、議長や市長に政策の立案及び政策の提言をすることができます。

会派は、議会運営、政策立案等に関し、積極的に会派間で調整を行い、合意形成に努めています。



創造みらい半田

代表／石川英之 8名



公明党

代表／山田清一 3名



志民ネット

代表／小栗佳仁 3名



チャレンジはんだ

代表／伊藤正興 3名



維新・半田市民の会

代表／中川健一 2名



自民クラブ

代表／新美保博 2名



無所属

● 第29回 議会報告会のYouTube配信について ●

第29回 議会報告会「市民と議会のつどい」については、YouTubeで配信予定です。

9月定例会で審議した令和2年度の決算などについて、審査の概要やポイントをわかりやすくお伝えします。議会報告会をご視聴いただき議会を身近に感じていただけたら幸いです。

配信日については、ホームページでご案内します。



半田市議会 議会報告会へ

● Qイズ!GIKAIへGO!!の開催中止について ●

市内中学生を対象に行われていましたクイズ大会「Qイズ!GIKAIへGO!!」は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。

ご理解いただきますようお願いいたします。

今後の本会議の開催予定

9月定例会の日程 8月31日(火)から9月29日(水)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します

あとがき

まだまだ暑い時期が続きます。最近、最高気温が高すぎる事やゲリラ豪雨が増えたりして気候の変化を感じる事が増えました。体調を崩さないようにご注意ください。

さて、今号の表紙写真は議会の様子が皆さまに伝わるようなものにしようと検討し、今までにないアングルから撮影したものを使いました。いかがでしょうか。これからも、今までよりどうやったら分かり易く、伝わりやすい紙面に来るか、議会を身近に感じてもらえるかと全員で努力していきます。

広報委員会

- 委員長 小出 義一
- 副委員長 鈴木 健一
- 委員 嶋崎 昌弘 / 山田 清一
- 中川 健一 / 澤田 勝

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail: giji@city.handa.lg.jp



QRコードは機読ソフトウェアの登録商標です。

半田市議会へ